



TITLE:

藪内清教授著作目録, 岩村忍教授著作目録, 長廣敏雄教授著作目録

AUTHOR(S):

CITATION:

藪内清教授著作目録, 岩村忍教授著作目録, 長廣敏雄教授著作目録. 東方學報 1970, 41: 763-771

ISSUE DATE:

1970-03-31

URL:

<https://doi.org/10.14989/66440>

RIGHT:

藪内清教授著作目録

單行本

- J. H. ジーンズ 神祕の宇宙 (譯) 恒星社 一九三二年五月
 李儼 支那數學史 (島本一男共譯) 生活社 一九四〇年六月
 支那の天文學 恒星社 一九四三年一〇月
 隋唐曆法史之研究 三省堂 一九四四年一月
 支那數學史 山口書店 一九四四年三月
 ギリシア科學の精神 全國書房 一九四六年九月
 漢書律歷志の研究 (能田忠亮共著) 全國書房 一九四七年六月
 近世天文學史 恒星社 一九四七年二月
 中國の天文學 恒星社 一九四九年八月
 プトレマイオス アルマゲスト 譯 上卷 恒星社 一九四九年一月
 こよみと生活 目で見る社會科 二五 毎日新聞社 一九五〇年八月
 祭のうつりかわり 目で見る社會科三八 (吉田光邦共著) 恒星社 一九五一年九月
 自然科學史 古代・中世篇 恒星社 一九五二年五月
 「グラニエ 時間の測定 (譯) 白水社 一九五三年六月
 星をたずねて 目で見る社會科五九 (宮本正太郎共著) 朝日新聞社 一九五三年七月
 西陣の機屋 アサヒ寫眞ブック 八 恒星社 一九五三年九月
 天工開物の研究 (編著) 恒星社 一九五三年四月
 時間と生活 目で見る社會科 八一 毎日新聞社 一九五五年五月
 立杭窯の研究 (編著) 恒星社 一九五五年六月
 天文學史 恒星社 一九五八年五月
 プトレマイオス アルマゲスト (譯) 下卷 恒星社 一九五八年五月
 中國古代科學技術史研究 (編著) 京都大學人文科學研究所紀要 二五
 東方學報 京都三〇 一九五九年二月
 一般天文學 朝倉書店 一九六三年二月
 中國中世科學技術史の研究 (編著) 京都大學人文科學研究所研究報告
 角川書店 一九六三年三月

藪内清教授著作目録

ケブラー・ガリレオ 世界大思想全集 社會・宗教・科學思想篇

第三一卷 (島村福太郎共譯) 河出書房 一九六三年九月

中國古代の科學 角川書店 一九六四年二月

天文學の歴史 新天文學講座 一二 (編著) 恒星社 一九六四年三月

ロバート・ガミニ 數の話 (譯) タイムライフ社 一九六四年一〇月

江戸時代の科學器械 (宗田一共著) 恒星社 一九六四年二月

科學史概説 (石藏甚平共著) 朝倉書店 一九六五年三月

宋元時代の科學技術史 (編著) 京都大學人文科學研究所研究報告

墨子 (譯) 中國古典文學大系 五 平凡社 一九六七年三月

天工開物 (譯) 東洋文庫 一三〇 平凡社 一九六八年四月

中國の天文曆法 平凡社 一九六九年一月

論 文 (和文) 平凡社 一九六九年八月

宋代の星宿 東方學報 京都七 一九三六年二月

唐開元占經中の星經 東方學報 京都八 一九三七年一〇月

十二律管について 東方學報 京都一〇二 一九三九年七月

兩漢曆法考 東方學報 京都一一三 一九四〇年一〇月

殷より隋に至る支那曆法史 東方學報 京都一二一 一九四一年六月

飯島博士の「禮記月令天文攷を讀む」について 東洋學報 二七ノ三 一九四二年八月

唐代における天竺曆法の輸入 京都漢學大會紀要 一九四二年一月

數學 支那地理歴史大系八 「支那科學經濟史」 一九四二年三月

南方諸地域の曆法 ひのもと 五ノ一一 一九四二年二月

唐代曆法における歩日躡月離術 東方學報 京都一三ノ二 一九四三年一月

印度の自然科學 「印度の文化」 一九四三年八月

唐宋曆法史 東方學報 京都一三ノ四 一九四三年九月

中國に於ける自然科學の發達 學藝 一ノ七 一九四三年二月

元明曆法史

東方學報 京都一四ノ二 一九四四年 二月

西洋天文學の東漸

東方學報 京都一五 一九四六年 一月

科學發達の基礎となるもの

學海 三ノ一 一九四六年 一月

算學啓蒙について

中國文化 一 一九四七年 六月

宋末の數學者楊輝

大同 一 夏季號 一九四七年 七月

東洋人の科學性

隨筆中國 二 一九四七年 九月

中國科學の性格

國民の歴史 一ノ一〇 一九四七年一〇月

地動説の展開

知慧 二の五 一九四七年一二月

科學發達よりみたる東西の比較

中國文化 二 一九四八年 一月

科學と倫理の問題

知慧 三ノ一 一九四八年 一月

中國古代科學思想の一面

中國文化 四 一九四八年 八月

中國の古代科學思想について

東光 七 一九四九年 一月

中國におけるイスラム天文學

東方學報 京都一九 一九五〇年一二月

殷代の曆法

東方學報 京都二一 一九五二年 三月

中國における西洋天文學の影響

科學史研究 三〇 一九五四年 七月

近世中國に傳えられた西洋天文學

科學史研究 三二 一九五四年一〇月

飛鳥奈良時代の自然科學

羽田亨編「飛鳥奈良時代の文化」 一九五四年 秋

中國天文學における五星運動論

東方學報 京都二六 一九五六年 三月

殷曆に關する二、三の問題

東洋史研究 一五ノ二 一九五六年一〇月

十八世紀における天文學の發達

小堀憲編「十八世紀の自然科學」 一九五七年 三月

難波宮創建時代の方位決定

大阪市立大學難波宮址研究會編「難波宮の研究」 一九五七年 七月

の研究

江戶時代における外來科學の輸入 科學史研究 四三 一九五七年 八月

建築・曆 圖說世界文化史大系四

「オリエンツII」 一九五七年 二月

近江の生んだ科學者

滋賀郷土史 二 一九五七年 二月

ギリシア時代の天體運動論

荒不俊馬博士還曆記念「現代の天文學」 一九五八年 四月

中國科學思想 東洋思想講座三

東洋的人間像 一九五八年 八月

沈括とその業績

科學史研究 四八 一九五八年 二月

乾坤辨説と曆象新書

科學史研究 四八 一九五八年 二月

科學の夜明け 圖說世界文化史大系一五「中國I」

漢代における觀測技術と石氏星經の成立 東方學報 京都三〇 一九五八年 二月

科學と技術 圖說世界文化史大系一六「中國II」

傳統技術 岩村忍編「日本の民族・文化」 一九五九年 三月

西洋天文學の影響 日本學士院編「明治前日本天文學史」

唐代における西方天文學に關する二、三の問題 「塚本博士頌壽記念 佛教史學論集」 一九六〇年 三月

官僚政治と中國中世の科學

科學史研究 五九 一九六一年 七月

中國曆における内惑星の光度

科學史研究 六〇 一九六一年一〇月

法顯傳載在考 「東方學會創立二五周年記念東方學論集」

胡粉工場と香盤 ひらおか 一一 一九六二年 八月

イスラムの天文臺と觀測器械

「文明の十字路」 一九六二年一〇月

中國の古代天文學

「技術の歴史」 月報二 一九六二年一〇月

西南アジア天文學の研究者たち

西南アジア研究 九 一九六二年 二月

シリウスの出現とエジプト王朝の年代

「鏑木・宮地兩教授還曆記念論集」 一九六三年 五月

中國・朝鮮・日本・印度の星座

新天文學講座一「星座」 一九六四年 二月

スタイン敦煌文獻中の曆書

東方學報 京都三五 一九六四年 三月

回々曆解

東方學報 京都三六 一九六四年一〇月

クレーンシャルの星占書

西南アジア研究 一三 一九六四年 二月

河防通議について

生活文化研究 一三 一九六五年 一月

江戶時代における佛說天文學の提唱

三枝博音記念論集「世界史における日本の文化」 一九六五年 七月

天理圖書館所藏の天球儀

ビブリア 三三二 一九六五年一〇月

- 宋元時代における科學技術の展開 東方學報 三七 一九六六年三月
中國科學的特質 東洋學術研究 五ノ八 一九六六年二月
枚岡の水車工業 「枚岡市史」一 一九六七年一月
木村兼葭堂の學問 「浪花のロマン」 一九六七年十二月
揚水機の起源と變遷について 大阪建設業協會會報 二二九 一九六八年三月
中國古代の科學 世界歴史シリーズ三 「古代中國」 一九六八年四月
李朝學者の地轉說 朝鮮學報 四九 一九六八年一〇月
明清間における西洋科學の輸入 史林 五二ノ三 一九六九年五月
天平時代の尺度 「南都のロマン」 月報 一九六九年七月
むかしの測量器械 大阪建設業協會會報 二二六 一九六九年七月
京都大學人文科學研究所における科學史研究 科學史手帖 二二 一九六九年九月
紙の發明 日本と世界の歴史三 古代 「中國・インドの古代文明」 一九六九年十二月
明清時代の科學技術史 京都大學人文科學研究所研究報告「明清時代の科學技術史」 一九七〇年三月
戴震の天文學 京都大學人文科學研究所研究報告「明清時代の科學技術史」 一九七〇年三月
論文 (歐文)
Indian and Arabian Astronomy in China. *Silver Jubilee Volume of the Zinbun Kagaku Kenkyusyo, Kyoto University*, 1954, pp. 585-603.
On the Development of Astronomy in Ancient China. *Actes du IX^e Congrès International d'Histoire des Sciences*, 1959, pp. 617-621.
Islamic Astronomy in China. Actes du IX^e Congrès International d'Histoire des Sciences, 1962, (pub. 1964), 1, pp. 555-557.
Astronomical Tables in China from the Wuai to the Ching Dynasties. *Japanese Studies in the History of Science*, 1963, no.

數内清教授著作目録

- 2, pp. 94-100.
L'astronomie ancienne du Japon. *Physis* (Firenze), 1963, May, pp. 299-318.
Sciences in China from the fourth to the end of the twelfth century, *History of Mankind, ed. by Guy S. Metraux and Francois Croizat*. New York: Mentor Books, 1963, pp. 108-127
The Pre-history of Modern Science in Japan: The Importation of Western Science during the Tokugawa Period. *Cahiers d'Histoire Mondiale*, 1965, September, pp. 208-232.
Astrology of Western Origin in Ancient Japan. *Scientia* (Italy), 1966, Juillet-Août.
T'ien-kung Kai-wu, *Technology and Culture*. VIII-1, 1967.
Comparative Aspects of the Introduction of Western Astronomy into China and Japan, Sixteenth to Nineteenth Centuries. *Chung Chi Journal*, 1968, July, pp. 151-154.

岩村忍教授著作目録

單行本

- シャヴァンヌ「史記著作考」(譯) 文求堂 一九三九年五月
十三世紀東西交渉史序説 三省堂 一九三九年九月
支那關係歐米名著略解 タイムス出版社 一九四〇年五月
蒙古の歐洲遠征 三省堂 一九四一年二月
耶律楚材 生活社 一九四二年一〇月
蒙古史雜考 白林書房 一九四三年二月
スウェン・ヘディン「彷徨へる湖」(矢崎秀雄と共譯) 筑摩書房 一九四三年四月
イスラーム・イスラム民族の社會― 雄山閣 一九四七年五月
長春真人西遊記(譯) 筑摩書房 一九四八年三月
ルマニ・ポーロの研究 上卷(本文) 筑摩書房 一九四八年五月

Marco Polo. *Itinerarium*. Antverpiae Tokyo: (National Diet Library, 1948)

Manuscripts and Printed Editions of Marco Polo's Travels.

(Tokyo: National Diet Library, 1949)

マルコ・ポーロ

岩波新書 一九五一年六月

蒙古研究文獻目錄 1900—1950年

(藤枝晃と共編)

京都大學人文科學研究所 一九五三年四月

アフガニスタン 朝日寫眞ブック

朝日新聞社 一九五五年一月

アフガニスタン紀行

朝日新聞社 一九五五年九月

西洋と東洋

三省堂百科シリーズ 一九五五年二月

イラン 朝日寫眞ブック (岡崎敬と共編)

朝日新聞社 一九五七年一月

西域とイスラム

「世界の歴史」5 中央公論社 一九六一年四月

The Ziru Manuscript, a Persian-Mongolian Glossary and

Grammar. (Results of the Kyoto University Expeditions to

the Kara Koran and the Hindukush, 1955, Volume VI) 1961

ヴァンベリー「中央アジアの冒険」(譯) やしま書房 一九六二年一〇月

西域(井上靖と共著) 筑摩書房グリーン・ベルト・シリーズ

元朝秘史 中公新書 一九六三年四月

暗殺者教國 筑摩書房グリーン・ベルト・シリーズ 一九六三年六月

校定本 元典章刑部(田中謙二と共編) 一九六四年八月

大蒙古帝國(勝藤猛と共著) 京都大學人文科學研究所 一九六四年十二月

アジアの見方 人物往來社 一九六五年一月

シルクロード—東西文化の溶爐 日本放送協會 講談社現代新書 一九六六年二月

NHKブックス 一九六六年八月

遊牧の運命—歴史と現代— 人物往來社 一九六七年六月

モンゴル社會經濟史の研究 京都大學人文科學研究所研究報告

インドと中近東

河出書房「世界の歴史」一九 一九六八年十二月 一九六九年一月

論文

マルコ・ポーロとラシッド・エッヂン

中國文學月報四一

倭漢洋管子書目

中國文學月報四五

蒙古軍歐羅巴侵入に關する研究書解題

善隣月報八一

支那印刷の西漸と波斯

中國文學五一

カルカ河畔の會戰に關する二三の考察

蒙古八七

アメリカ支那學瞥見その他

中國文學月報五五

歐羅巴に於ける蒙古研究の發達—一八世紀

蒙古九二

歐羅巴に於ける蒙古研究の發達—一九世紀

蒙古九三

漢文と支那文化

文科五ノ三

支那及支那語に關する西洋のレキシコグラフィ—

中國文學六三

拔都終焉の年次に就いて

蒙古學報一

ムール・ベリオ版「マルコ・ポーロ旅行記」に就いて

中國文學六三

支那を調査したアメリカ人たち

東亞問題二ノ九

イラン文蒙古史の諸版本について

中國文學六八

元史速不臺傳の西征紀事について

回教圈五ノ二

耶律鐸

蒙古學報二

元の大都

東亞論叢五

亞歐大陸諸民族活動の方向についての史的考察

蒙古一一五

元朝輿考

思想二四一

「居家必用事類全集」に見えたる回回食品並に女直食品

北亞細亞學報一

民族學研究新一ノ四

一九四二年六月 一九四二年二月 一九四三年五月

甘肅省の回民

蒙古一三八 一九四三年二月

甘肅回民の二類型

民族研究所紀要一 一九四四年三月

黃河上游の皮筏―農牧交錯地域に於ける回民職業の一考察―

民族學研究新二ノ一 一九四四年一月

歴史・エスノロジー・社會學について―

中國イスラム研究

を中心として―

民族學研究二ノ二 一九四七年二月

中國イスラム社會研究上の諸問題

民族學研究二ノ三

アメリカに於ける中國研究の新傾向

一九四八年一月

「アメリカの新アジア觀」

中國研究所編 一九四八年五月

The Structure of Moslem Society in Inner Mongolia

(*Far Eastern Quarterly* VIII. 1: 1948)

イスラムの家 東洋文化研究會議「東洋の家と官僚」

一九四八年二月

中國回教社會の構造

日本評論社「社會構成史體系」

(上)(下) 一九四九年二月 一九五〇年三月

元朝の笞杖刑について

東方學三 一九五二年一月

ヴォルテール作シナの孤兒の源流

京都大學人文科學研究所紀要七 一九五二年三月

元朝の法制における人命賠償―燒埋銀と私和錢について―

東洋史研究二ノ四 一九五三年六月

イスラム教徒

歴史教育一ノ二 一九五三年一〇月

マリノーウスキー學說

民族學研究一七ノ三・四 一九五三年一〇月

元典章刑部の研究―刑罰手續―

東方學報 京都二四 一九五四年三月

フランス百科全書の研究―中國論―

桑原武夫編「フランス百科全書の研究」 一九五四年六月

玄風慶會錄について

東西學術研究所論叢一三 一九五四年

Notes on Mongolian Groups in Afghanistan (H. F. Schurmann)

岩村忍教授著作目録

と并嶽) (*Silver Jubilee Volume of the Zinbun Kagaku*

Kenkyūso, Kyoto University: 1954)

ハザラ族の起源に關する諸問題 東洋史研究一四ノ三 一九五五年二月

モンゴル族をたずねて 木原均編「砂漠と氷河の探検」

朝日新聞社 一九五六年三月

塔里寒考

東洋史研究一五ノ一 一九五六年七月

傳播とパラレル

民族學研究二ノ三 一九五七年八月

中央アジアの人々の言語生活

西尾實編「外國人の言語生活」

明治書院 一九五八年八月

湛然居士文集札記 「塚本博士頌壽記念佛教史學論集」

一九六二年二月

五戸絲と元朝の地方制度

東方學報 京都三二 一九六二年三月

天理圖書館藏・至元通行寶鈔

ビブリア三三 一九六二年一〇月

遊牧民の歴史と社會 京都大學學術調查隊編「文明の十字路」

平凡社 一九六二年一〇月

亦思替非文書考 岩井博士古稀記念典籍論集

一九六三年六月

スウェン・ヘディン「20世紀を動かしした人々」一四 「未知への挑戦者」

講談社 一九六三年九月

ムラーヒダとモンゴル

西南アジア研究一一 一九六三年二月

元時代における紙幣インフレーション―經濟史的研究―

東方學報 京都三四 一九六四年三月

元時代の肉刑について

「京都大學人文科學研究所創立三十五周年記」

念論集」

一九六四年一〇月

ボハラのタラビ叛亂に關する中國史料

西南アジア研究一三 一九六四年二月

長廣敏雄教授著作目録

單行本

メルスマン音楽通論 (初版) 一九三九年六月(再版) 一九四〇年一月

第一書房

同 右 (改訂版)

音楽書院 一九五三年九月

リイグル美術様式論

座右寶刊行會 一九四二年四月

古代支那工藝史に於ける帶鉤の研究

東方文化研究所 一九四三年一月

北京の畫家たち

全國書房 一九四六年六月

大同石佛藝術論

全國書房 一九四六年二月

音樂論ノート

全國書房 一九四七年三月

飛天の藝術

朝日新聞社 一九四九年八月

敦煌(中國の名畫シリーズ)

平凡社 一九五七年二月

ヨーロッパ藝術紀行

角川書店 一九六三年三月

雲岡と龍門

中央公論美術出版 一九六四年二月

天人の譜

淡交新社 一九六七年四月

東洋の美—ところとかたち

美術出版社 一九六七年九月

南陽の畫象石

美術出版社 一九六九年三月

六朝時代美術の研究

美術出版社 一九六九年六月

單行本 (共著)

響堂山石窟(水野清一共著) 東方文化學院京都研究所 一九三七年六月

龍門石窟の研究(水野清一共著)

座右寶刊行會 一九四一年八月

大同の石佛(水野清一共著)

座右寶刊行會 一九四六年九月

雲岡石窟 全十六卷(水野清一共著)

京都大學人文科學研究所 一九五一年~五五年

雲岡石佛めぐり(水野清一共著・アサヒ寫眞ブック)

朝日新聞社 一九五四年八月

漢代畫象の研究(編著)

中央公論美術出版 一九六五年一月

論文

美術史關係

武氏祠畫像石に就いて(その造形美術上の形式論)

東方美術四 一九三〇年二月

武氏祠畫像石に就いて(續)

東方美術五 一九三〇年五月

工藝史上より見たる漢様式と銅鏡

東方學報京都一 一九三一年三月

漢代を中心とする動物表現に就いて

東方學報京都四 一九三四年一月

支那古銅器の藝術學的分析

東方學報京都五 一九三四年七月

ゴットフリード・ゼムベルの工藝論

實雲一五 一九三五年二月

漢代容器器形に就いて

東方學報京都六 一九三六年二月

漢魏六朝の建築・裝飾・工藝 世界文化史大系(誠文堂新光社)

一九三六年十二月

北魏唐草文様の二三について

東方學報京都八 一九三七年一月

三月堂建築をめぐる美術史上の問題

國分寺の研究(角田文衛編) 一九三八年八月

支那劇音樂の採譜について

東方學報京都九 一九三八年一月

古代美術史序説(一、二)

考古學論叢九、一〇 一九三八年十二月

支那寺四神考 藥師寺之新研究(以可留我叢書九)

一九三八年五月

雲岡石佛寺日記抄

考古學論叢一五 一九四〇年四月

古代支那藝術の抽象性

東方學報京都一ノ四 一九四一年一月

支那工藝史 「支那地理歴史大系」刊行會編支那美術史(白楊社)

一九四一年八月

キジール紅穹窿洞——その復原圖の作製——(岡田芳三郎共著)

東方學報京都二ノ二 一九四一年九月

『東洋美術史研究』を読む

ひのもと五ノ一一 一九四二年二月

應縣の巨塔

ひのもと六ノ一 一九四三年一月

李昭道の海圖について

東方學報京都一四ノ三 一九四四年六月

雲岡石窟に関する藝術論(上)(中)(下)

寶雲三三・三四・三五

雲岡雜記

學海三二

雲岡石窟に於ける佛像の服制について

東方學報京都一五ノ四

蔣少游 青木正兒博士還曆記念・中華六十名家言行錄(弘文堂)

スチュゴフスキイの美術史論

古文化一

唐代の唐草文様

佛教藝術八

長安の寺塔と壁畫(隋朝篇)

美術史二

「唐代唐草文様」補遺

佛教藝術九

敦煌の繪畫

世界美術全集(平凡社)八

隋唐工藝文化

世界美術全集(平凡社)八

本生譚表現について

佛教史學二ノ二

中國古代の工藝——中國古代美術の展開——

世界美術全集(平凡社)七

平面より空間へ——リイグルの美術史の基礎概念——

美學三ノ二

畫家尉遲乙僧について

京都大學人文科學研究所創立二十五周年記念論文集

隋唐の碑碣

書道全集(平凡社)七

藝術における間合い

華道一七の四

南北朝の明器泥像

世界陶磁全集(河出書房)八

On Wei-chih I-seng, a Painter of the Early T'ang Dynasty,

Oriental Art, Vol. 1, no. 2, 1955

最近における敦煌石窟の研究

史林三九ノ二

藝術の「場」

華道一八ノ四

リズムについて

華道一八ノ九

唐の明器土偶

世界陶磁全集(河出書房)九

長廣敏雄教授著作目録

藝術についての一つの討論

華道一八ノ二

東洋の美と文化(上)(下)

華道一九ノ一〇・一一

Archaeology and Fine Arts (Part V), Research in Japan in

History of Eastern and Western Cultural Contacts, 1957, p.

109-112

龍門石窟

書道全集(平凡社)六

隋朝の閻毗と何稠について

美術史二九

閻立德と閻立本

東方學報二九

インドの佛蹟

佛教藝術四一

Flying Celestials of East and West, International Symposium on

History of Eastern and Western Cultural Contacts, Collection

of Papers Presented, Compiled by the Japanese National

Commission for UNESCO, 1959

漢代の冢祠堂について 塚本博士頌壽記念佛教史學論集

武氏祠左右室第九石の畫象について

東方學報三一

隋唐の繪畫

世界美術全集(角川書店)一五

インドネシアの先史文化——新石器から金石併用時代まで——

東南アジアの古代文化

世界考古學大系(平凡社)八

A Study on the Central Pavilion Scenes of the Wu Family Shrines,

Acta Asiatica 2, 1961, p. 40-58

東魏武定元年造像碑の線刻畫

國華七一ノ一(八三八)

戰國式帶鈎について

東方學報三一

畫象石と畫象塚

世界美術全集(角川書店)一三

殷周青銅器の藝術性

みづゑ六八七

帶鈎と鏡

世界美術全集(角川書店)一二

裝飾意匠と文様

世界考古學大系(平凡社)一六

七六九

- 訪中旅行記 史林四六ノ三 一九六三年五月
- 轉換期美術の背景 世界美術全集(角川書店) 一四 一九六三年五月
- 專刻畫と石刻畫 世界美術全集(角川書店) 一四 一九六三年五月
- 石窟寺院 世界美術全集(角川書店) 一四 一九六三年五月
- 壁畫とデザイン 世界美術全集(角川書店) 一四 一九六三年五月
- 中央アジアの美術 世界美術全集(角川書店) 一四 一九六三年五月
- 曲陽發見の石佛について 美術史四九 一九六三年六月
- 晉・宋間の竹林七賢と榮啓期の畫圖 國華七二ノ八(八五七) 一九六三年八月
- 様式またはスタイルについて(上)(下) 華道二六ノ二・三 一九六四年二・三月
- 敦煌絹幀「金剛力士像」について 東方學報三五 一九六四年三月
- 漢代肖像畫の精神史的背景 東方學報三六(創立三十五周年記念論集) 一九六四年一〇月
- 六朝、隋唐の貴族文化 世界の文化(河出書房) 四 一九六五年五月
- 中國古代美術論——周漢美術の背景—— 古代史講座二二 一九六五年一二月
- 漢代畫象石の新分野 美術工藝三三七 一九六五年一二月
- 東洋における美意識の傳統 展望 九一 一九六六年七月
- 古代中國の美術 世界歴史シリーズ三 古代中國(世界文化社) 一九六八年四月
- 中世轉換期の美術 世界歴史シリーズ七 大唐の繁榮(世界文化社) 一九六八年九月
- 音樂關係 音樂經濟學の理論的基礎(譯) 美・批評一ノ一 一九三〇年九月
- 音樂に於ける浪漫派 美・批評一ノ二 一九三〇年一〇月
- クロード・ド・ビツシーと西班牙(譯) 美・批評一ノ三 一九三〇年一二月
- ストラヴィンスキー論——ボーリス・ドゥ・シュレーセルの近著——

- 明日の歌劇構成 美・批評一ノ五 一九三二年一月
- ラヂオ(コンサートの社會性) 美・批評一ノ七 一九三二年四月
- 近代音樂の純粹性(譯編) 美・批評一ノ九 一九三二年六月
- ハンス・メルスマンの音樂美學 美・批評一ノ一〇 一九三二年七月
- 日本の音樂——ジル・マルシェックスの目に映じたる——(抄譯) 美・批評一ノ一 一九三二年九月
- 音樂美學の構成的要素 美・批評二ノ五 一九三二年一二月
- パウル・ヒンデミットの近作「教本」 美・批評二ノ六 一九三三年三月
- 音樂に於ける生の動性——特にベートーヴェンに就いて—— 美・批評二ノ九・一〇合併號 一九三三年七月
- モデスト・ムツソルグスキー(一)(二) 美・批評三ノ二一 一九三三年九月
- 地方樂界と管絃樂——新響の關西演奏會に接して—— 美・批評三ノ二四・二五・二六合併號 一九三三年一二月
- メッテル氏とロシア音樂——氏の新響客演を前に—— 音樂世界五ノ七 一九三三年七月
- 旋律は流動的力性である 音樂世界六ノ一 一九三四年一月
- エロイカの演奏覚え書 美・批評三ノ二八 一九三四年五月
- 鄭顯孫先生の琴 京都帝大交響管絃樂團 第二十七回定期演奏會會報 美・批評三ノ二九 一九三四年六月
- クルト・ワイルの「諾いふ人」と能樂「谷行」 一九三四年一二月
- 大戰以後の音樂作品二三 世界文化二 一九三五年三月
- 現代フランス音樂 世界文化九・一〇合併號 一九三五年四月
- 二十五年忌を迎へたグスタフ・マーラー 世界文化一九 一九三六年七月
- 支那音樂の過去現在に就いて 音樂世界八ノ七 一九三六年七月

リストの50年忌	世界文化二〇	一九三六年八月
ヒンデミット作「畫家マチス」	世界文化二〇	一九三六年八月
ナチスドイツ音楽の方向	世界文化二二	一九三六年一〇月
ダリウス・ミロオの音楽	フランス音楽の限界性	
音楽理論家の職能	世界文化二四	一九三六年二月
クルト・ワイルと音楽劇場	音楽研究二ノ二	一九三七年一月
中國電影（映畫）發達史	世界文化二六	一九三七年二月
上・下（譯）	世界文化二七・二八	
近代音楽の動向 (一)(二)(三)(四)	一九三七年三・四月	
音楽研究二ノ三	三ノ三	
音楽のポリフォニイ的思考	一九三七年四・七月	一九三八年一・四月
音楽評論九ノ四	一九四〇年四月	
音楽評論九ノ六	一九四〇年六月	
音楽評論九ノ一	一九四〇年二月	
音楽の素地	ピアノストは作曲すべし	
音楽評論一〇ノ一	一九四一年一月	
音楽教育研究三ノ三		
メルスマン「音楽通論」について	一九四一年三月	

ハンス・メルスマン 音楽美學への序	新文學三ノ一・一二合併號	
洋樂と邦樂の問題	眞日本	一九四六年二月
ベートーヴェンの作品に對する解釋	シンフォニー三	一九四七年二月
劇場音楽か絶対音楽か	シンフォニー七	一九四八年五月
チャイコフスキーの慟哭	シンフォニー一〇	一九四八年一〇月
「第九」への讃歌	交響一ノ五	一九四九年六月
チャイコフスキー音楽の解釋	シンフォニー一九	一九四九年一〇月
オーケストラの生態 DEMOS (デモス)	九ノ八	一九五一年八月
ブルックナアの交響曲について	フィルハーモニー二五ノ三	
モーツァルトのオペラ	モーツァルト生誕二百年祭記念演奏會小誌III	一九五三年三月
モーツァルトの宗教音楽	モーツァルト生誕二百年祭記念演奏會小誌VII	一九五五年一〇月
ムツソルグスキーの人間像	フィルハーモニー二九ノ二	一九五六年一月
まねることの巧さについて	音楽藝術十八ノ六	一九六〇年六月